

この特報は、3/30発行の「プラム特報 No.3」の薬剤散布（散布目安は、落花後）が終わってから行なう防除を掲載しています。 特報No.3の内容を再度、ご確認ください。

生育状況は、平岡地区の太陽の開花で4/8と平年よりも6日程度早く推移しています。
 また、防除については地域、品種により生育差がありますので、園の状況を確認してから実施しましょう。

1. 薬剤散布

隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

≪プラム 第4回防除≫（落花後の散布から約10日後目安）

※必ず早朝散布「放花昆虫保護のため」

・散布時期：	4月下旬～5月上旬（4月26日～5月5日頃）		
・散布薬剤：	水	100ℓ当り	・散布日 月 日 ・散布量 ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	
	サムコルフロアブル 10	40ml	（3日前、3回）
	ウララDF	50g	（7日前、2回）
	マイコシールド	50g	（21日前、3回）
・対象病害虫：	ケムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）		
・散布量：	10a当り SS400ℓ 動噴500ℓ		
・注意事項	① 5月末までの農薬散布は、葉、果実とも軟弱であり、（時間帯・薬液量等）十分注意する。 ② アグレプト水和剤、アグリマイシン-100等のストマイ剤はぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。		

≪プルーン≫

プルーンの防除は、現在の生育状況を踏まえ、次号（4/30発行、プラム・プルーン特報No.5）に掲載します。 *当初の予想より生育が遅れています。落花後の防除は、特報No.3をご覧ください。

2. 今後の管理 摘果作業（結実判明後）

品種では、秋姫 ⇒ 大石早生 ⇒ 菅野中生 ⇒ 貴陽 ⇒ 太陽 などの順に5月上中旬頃から

- ・予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果 ・園内が暗くなりやすいので新梢を整理して下さい。
- ・ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去して下さい。

次回の特報発行予定は、4/30です

プラム：第5回、第6回 プルーン：第3回 薬剤散布